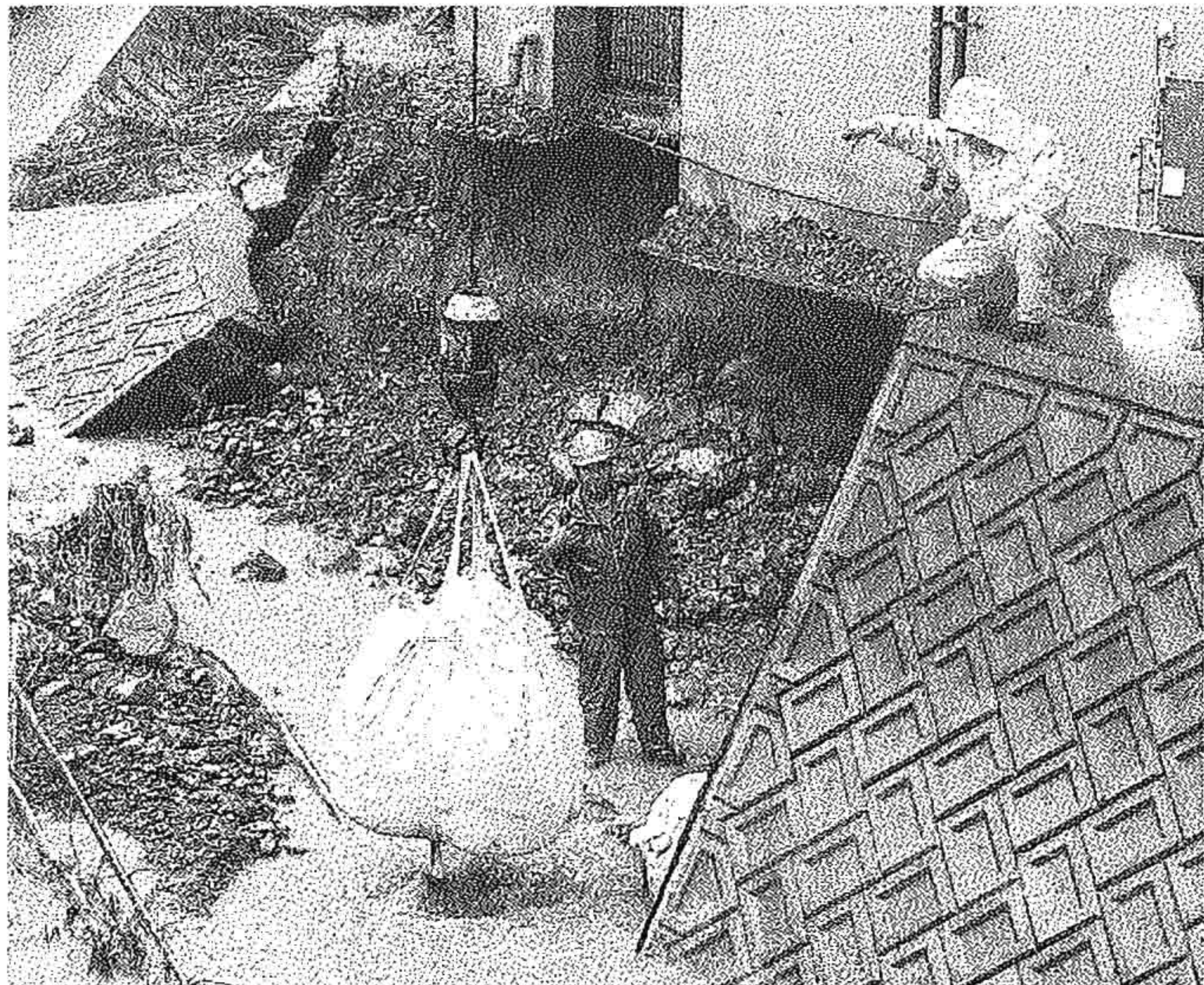


奄美北部で記録的豪雨

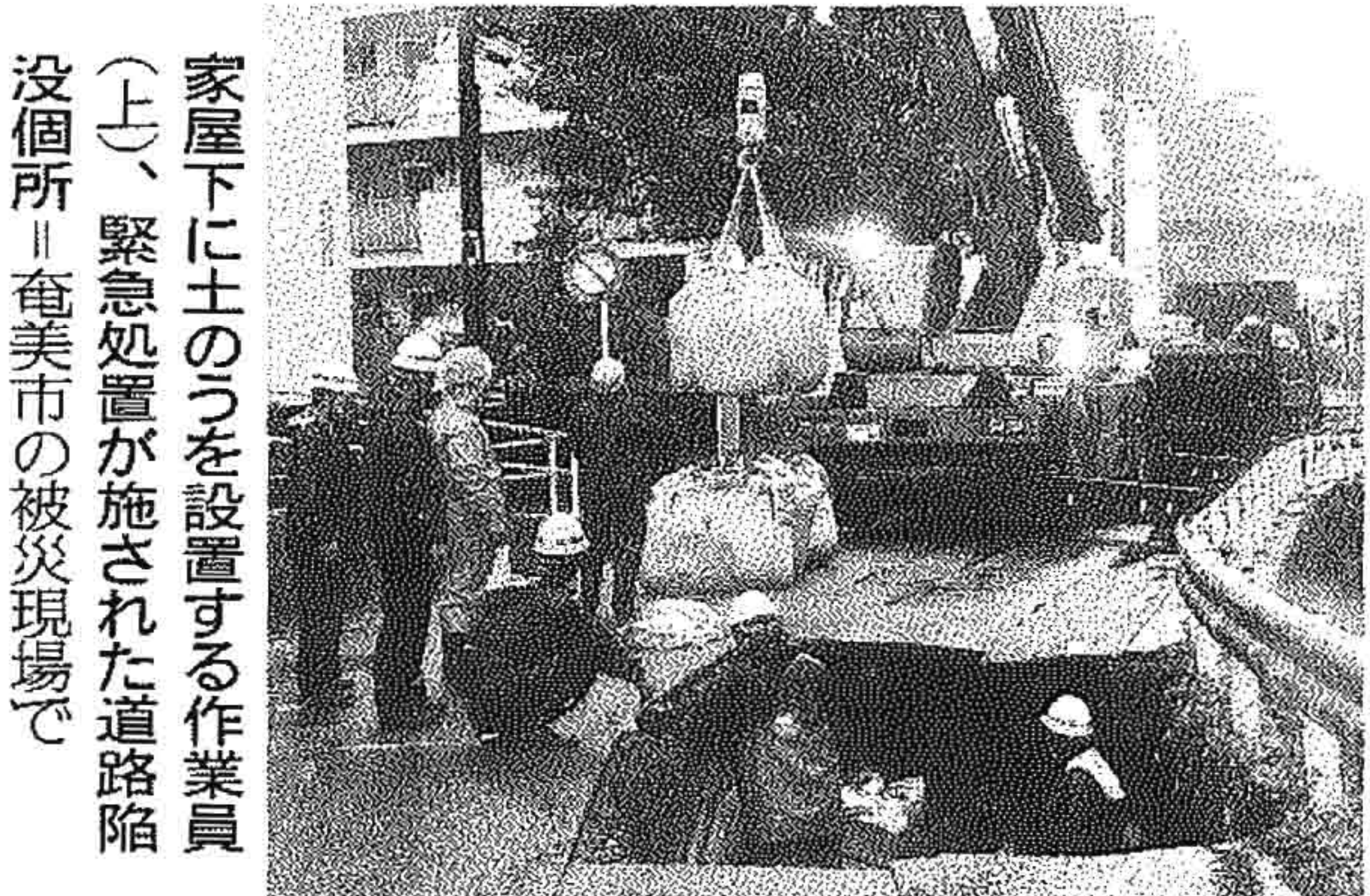
建設業が緊急出動



県建設業協会奄美支部は、各所で寸断されている国道58号を中心に作業を実施。龍郷町中勝では道路半分が陥没し、交通が完全に遮断されている状態。会員らはその復旧に追われた。県大島支

「二日も早い復旧を」

奄美北部を中心に記録的な豪雨に見舞われ、土砂崩れや家屋浸水等の被害が相次いだ20日から一夜明けた21日、県や奄美市から応援要請を受けた県建設業協会奄美支部(村上慎一郎支部長)と名瀬連友会(浜田幸雄会長)は、島内各所で発生した災害現場で懸命の復旧作業を行った。



家屋下土の設置する作業員(上)、緊急処置が施された道路陥没箇所。奄美市の被災現場で

庁建設部建設課によると、全面通行止めは30力所以上にとり、奄美市住用町では、城トンネル入り口で大規模な土砂崩れが発生。奄美市から向かってトンネル手前は、依然として冠水。いまだ現場の作業には着手できていない状況となっている。このほか、会員らは名瀬龍郷線や大浜近辺の道路などでも作業に当たった。

多空間を創造するスペースランニング
スライディングウォール・展示パネル
(設計・施工・メンテナンス管理)
(株) サカモト
鹿児島市田上四丁目四七五
電話 〇九九二六五〇四九一五番
FAX 〇九九二六五〇四九六番
http://www.kc-news.co.jp

奄美豪雨災害(21日午後)

がけ崩れ4件、通信回線に被害大

奄美地方に20日から発令された大雨・洪水警報を受けたとみられるが、さらに被害は拡大する見通し。県災害対策本部では通信回線の不通など、死者2人のほか、龍郷町で行方不明の1人が死亡、死者は3人となった。ま

緑化特集 4、5面

形割引

自振も可(要相談・鹿児島)

日本貸金業協会会員第000381号
鹿児島県知事(9)第00077号
きりハウス(有)
鹿児島市下荒田4-8-16
☎(099)252-5238
FAX(099)251-5016
携帯 090-5295-5052

501回線の計6351回線が不通になっている。

また有屋の仲勝川では、河川に隣接する住宅との間のブロックが崩壊。家屋下の土がえぐりとられ、危険な状態となっていたため、土のうを設置するなどの緊急処置を施した。会員らは朝戸線、山田線、本茶線でも同様の作業を黙々とこなしていた。

同日、奄美市土木課によると、土砂崩れや河川災害の発生した箇所は市内で100以上。このうち名瀬連友会は、法面崩壊や河川護岸決壊現場など7カ所で復旧作業を実施した。

また有屋の仲勝川では、河川に隣接する住宅との間のブロックが崩壊。家屋下の土がえぐりとられ、危険な状態となっていたため、土のうを設置するなどの緊急処置を施した。会員らは朝戸線、山田線、本茶線でも同様の作業を黙々とこなしていた。

日空衛全国会議

本県で初開催

日本空調衛生工事業協会の第17回全国会議が21日、鹿児島市の城山観光ホテルで開かれ、業界が抱える課題やその対策等について情報の共有化を図った。本県での開催は初。

(6面に関連記事)

県建設業協会奄美支部事務局では「住民の安全を確保することが何よりも重要。技術を結集して一日も早い復旧を目指したい」としている。

(9面に入札結果)

埋立の進捗状況は、1期地区全体で約93%(9月末現在)。現在のペースで公共残土の搬入が進めば、26年12月の竣工期限より大幅に早まり23年度中が見込まれる。

同市春日町の俊良川では、は数カ所で護岸が決壊。道路半分が陥没した箇所もあり、作業員らは大型クレーンを使って土のうを次々と埋め込んでいった。

また有屋の仲勝川では、河川に隣接する住宅との間のブロックが崩壊。家屋下の土がえぐりとられ、危険な状態となっていたため、土のうを設置するなどの緊急処置を施した。会員らは朝戸線、山田線、本茶線でも同様の作業を黙々とこなしていた。

鹿児島県住宅建設 普及促進セミナーのご案内

11月8日開催!

締切日/10月22日
(定員になり次第締切)

(株)鹿児島建設新聞主催



■スケジュール

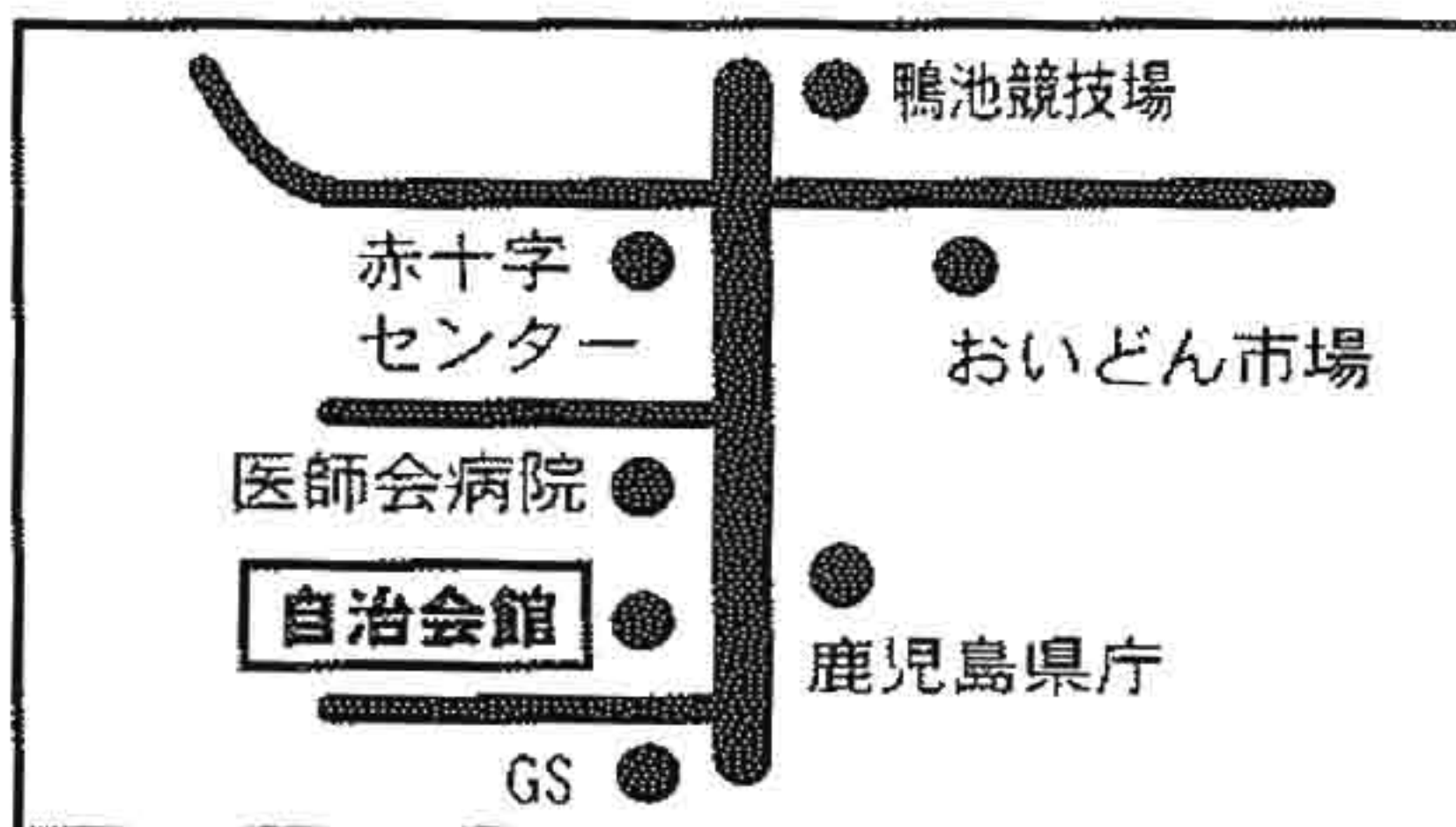
- 開 会 13:15
- 挨拶 13:15~13:25
- 講師紹介 13:25~13:30
- 講 演 I 13:30~14:20
長期優良住宅・住宅エコポイントの制度概要について
講師：鹿児島県土木部
- 講 演 II 14:30~15:20
長期優良住宅・住宅エコポイントの技術審査関係について
講師：県住宅・建築総合センター
- 講 演 III 15:30~16:50
行列のできる元気な工務店は、ここが違う
講師：三浦 祐成氏
- 質疑応答 16:50~17:00
- 閉 会 17:00



鹿児島県土木部
建築課住宅政策室
住宅企画係技術主査
佐伯 正彦氏



県住宅・建築総合センター
審査部次長兼
住宅審査一課長
小野 茂氏



※会場は駐車場に限りがございますので、なるべく公共の交通機関を御利用ください。



新建新聞社
新建ハウジング取締役編集長
三浦 祐成氏

■開催日時 平成22年11月8日 月曜日 午後1時開場
■開催場所 鹿児島県市町村自治会館 4F
鹿児島市鴨池新町7-4
■定 員 120名
■主 催 株鹿児島建設新聞
■後 援 鹿児島県 住宅金融支援機構南九州支店
(財)鹿児島県住宅・建築総合センター
■協 賛 株式会社永
■参加費 2,000円(テキスト代ほか)

お申込み・お問い合わせは TEL:099-227-5100まで

日空衛、全国会議

低炭素
社会
実現へ先導役に

日本空調衛生工事業協会(有馬修一朗会長、日空衛)の第17回全国会議が21日、鹿児島市の城山観光ホテルであった。全国約300人が出席。空調衛生工事業の独自性と確立を基本テーマにした講演や事例発表が行われ、低炭素社会づくりへ業界が果たすべき役割など情報共有を図った。



事例発表なども行われた会議
鹿児島市の城山観光ホテルで

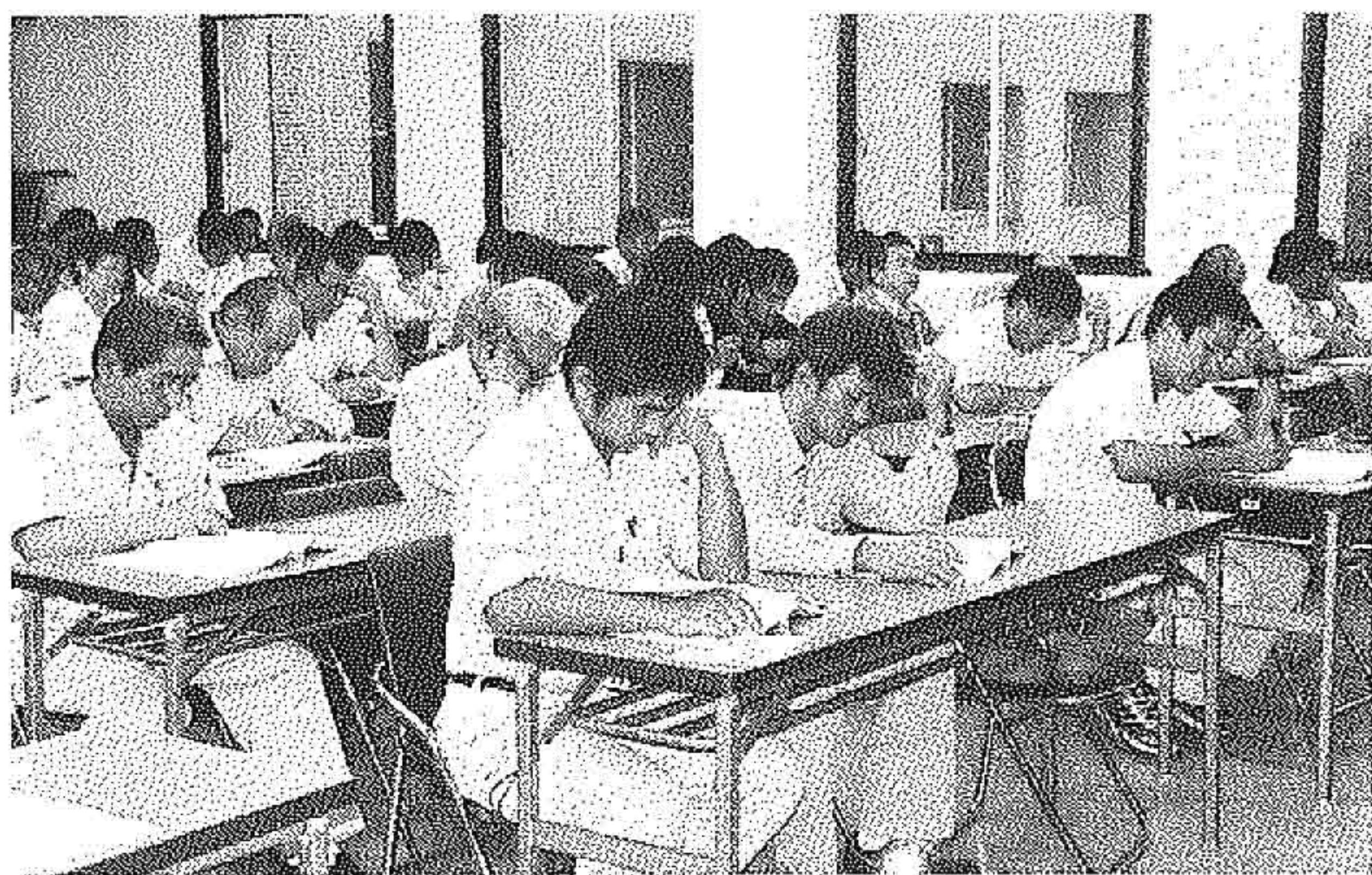
有馬会長は冒頭の挨拶で、協会が22年度のスロガンとして掲げる低炭素社会づくりに触れ、「重要な役割を担う業界として、先導役を果たさなければならぬ」と強調。続けて「公共投資等が削減し、経済情勢は厳しいが他企業との融合を図り、諸施策を推進していきたい」と決意を述べた。

来賓の河村正人国土交通省大臣官房審議官が挨拶。事業全体の投資額が減少する中で「経営安定化」を課題に挙げ「CO2削減施策などは今後の重要課題の一つ。動向に注目することが必要だ」と述べた。

建築関係技術者研修会

法改正点など学ぶ

22年度建築関係技術者研修会が20日、奄美市の奄美会館であった。多くの建築関係者が出席して、



法令改正点や工事施工における留意点等について学んだ。

研修会では、県大島支庁建設部の立元聡建設課長が「長時間にわたる研修となるが、最後まで聞いていただき、今後の皆さんの業務に役立ててほしい」と挨拶した。

講師の説明に耳を傾ける受講者＝奄美市の奄美会館で

研修会では、同部の富房貴広建築係長が最近の建築関係法令等の改正について講義。建築確認手続き等の運用改善、省エネ法、住宅瑕疵担保履行法などを詳しく説明した。

このほか、県土木部の諏訪下勉工事監査課が21年度建築工事の検査結果等について解説したほか、電気・機械設備工事における留意点および21年度検査結果等、施工における留意点等として県のCALS/ECの状況、最近の営繕工事に係る制度や取り組みに関する講義も行われた。

西郷組安全大会

快適な職場づくりを

(株)西郷組(西郷進一社長、日置市)は19日、同市の伊集院健康づくり複合施設「ゆすいん」で22年度安全大会を開いた。

分析ポイントを理解

決算書読み方セミナー

(株)インターウェブ「知識ゼロからの決算書(倉橋利一社長)主催のセミナー」が20日、鹿児島市のかごしま県民交流センターであった。企業・経営者や営業・総務担当者ら37人が受講。



読み解く上で必要な語句説明もあったセミナー＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

時間内で決算書の読み方をマスターすることをテーマにした同セミナー。福元克明氏(フクモトマサシ)が講師を務め、決算書を理解するための必要知識や語句などを踏まえ、ポイントを解説した。

貸借対照表の分析について福元氏は「当面の資金繰りに問題がないかどうかを見ることが必要」とアドバイス。また、企業の安全性を見る自己資本比率を「理論的に50%以上が健全値」とし、その理由を「資金繰りが安定するため、経営にも余裕が出てくるため」と説明した。

同社の第一営業グループ山口崇氏は「今後の業務に少しでも役立ててもらえれば」と語った。

出席した社員約30人は、安全で快適な職場づくりを努めることを誓った。

大会ではまず、西郷社長が「労働災害ゼロを目指し、管理体制の充実や安全衛生教育を推進していく」と挨拶。社員が一丸となり、安全への一層の取り組みを訴えた。

この日は、全国警備保障(株)教育指導部教育課長の飯森勇夫氏が「通行車両に対する安全対策・交通誘導方法」を、日置警察署交通課長の米倉隼人氏が「日置警察署管内における交通死亡事故事例」をそれぞれ講義。

また大会終了後は、23、24日に日置市伊集院町を中心に開催される「妙円寺参り」に合わせ、恒例となった徳重神社境内の整備をボランティアで実施した。



安全意識の重要性を学んだ大会＝日置市のゆすいん

安全意識の重要性を学んだ大会＝日置市のゆすいん

地域貢献活動



～ 藤田建設興業、時任建設、須賀建設 ～

遠行大会をサポート

藤田建設興業(株)(藤田護社長、西之表市)、(株)時任建設(田淵川寿広社長、中種子町)、(有)須賀建設(須賀義信社長、同)の3社が15日、種子島高校の遠行大会を給

水などでサポートした＝写真＝。

種子島高校では、毎年今の時期に全校を挙げた「カシミア号遠行大会」(25km)を実施しており、コースが道路改良現場と重なったことから、日ごろからの工事への理解に感謝しようと、学校側へ協力を申し入れた。

3社は約10kmの地点に共同で給水所を設置し、午前9時のスタートに備えた。大会には1年から3年まで、約500人の生徒が参加。社員らは次々と給水所を訪れる生徒たちに清涼飲料水と安納イモを手渡し激励した。

藤田建設興業(株)の前村雄一総務部長は「地域コミュニティ活動の一環として実施した。このよう

な活動が、建設業へのイメージアップにつながればありがたい」などと期待を込めた。

～ 九電工鹿屋営業所 ～

ばら祭り前に清掃

(株)九電工鹿屋営業所(勝目信一社長)は20日、鹿屋市霧島ヶ丘公園で樹木伐採等の清掃奉仕活動を実施、関係者から喜ばれた＝写真＝。



毎年全社で取り組んでいる「さわやかコミュニティ旬間」行事の一環として行われた地域貢献活動で、今回で42回目。

一環として行われた地域貢献活動で、今回で42回目。

出発式で勝目所長が「地元感謝し、地域に認められる企業を目指して頑張ろう」と呼び掛けた後、公園管理者が「ばら祭り前には大変ありがたい」と挨拶。参加者40人は、雨の中、駐車場と公園内にあるワシントンヤシ37本の枯れ枝を、高所作業車5台を使い手際よく伐採した。

霧島ヶ丘公園内のばら園では23日から、「かのやばら祭り2010秋」が開催される。

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道編集部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。E-mail:hensyu@po.kc-news.co.jp